

みなさん!火災がふえてます!

NEWS 1 ハマナス保育園『防火の誓い』

火あそびは
ぜったいにしません!

写真は、令和6年秋の全国火災予防運動で、湖陵町のハマナス保育園のみなさんが防火パレードを行い、元気いっぱいの大きな声で『防火の誓い』を行ったものです。

※出雲市消防本部では、幼少期からの防火意識向上にも取り組んでいます。

NEWS 2 令和6年度防火ポスターコンクール

小学生1~3年生の部

最優秀賞

湖陵小学校3年
森山 雄太さん



小学生4~6年生の部

最優秀賞

荒木小学校5年
園山 愛織さん



中学生の部

最優秀賞

斐川東中学校1年
昌子 悠里さん



出雲市防災安全協会会長賞

特別賞

北陽小学校2年
多久和 泰希さん



たくさんのご応募ありがとうございました。

職場体験学習実施しました

今年も市内の中学生の皆さんに、各消防署での職場体験に参加していただきました。

地域の人たちの役に立ちたい！助けたい！との思いをもっている皆さん！

職業選択肢の一つとして『消防士』を考えてみませんか。

私、消防士になる！

この経験を
進路に
生かしたい！

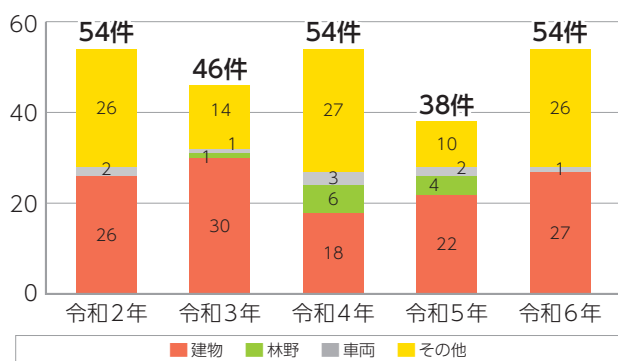
緊急出動
する時の迫力が
すごかった

人の命を救う
大変さが
わかった！



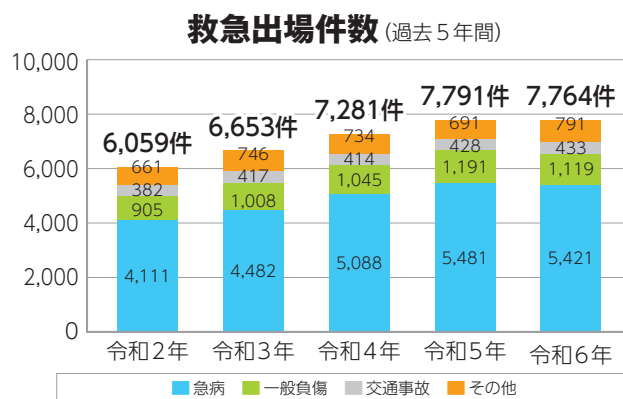
統計

住宅用火災警報器の設置を！



令和6年の出雲市の火災件数は前年に比べ**16件増加**しています。建物火災が前年より**5件増加**しています。**住宅用火災警報器を設置**して、火災からの逃げ遅れを防ぎましょう。また、**野焼きや寄せ焼き行為を含む「その他の火災」**も前年よりも増えていますので十分注意しましょう。

救急車の適正利用を！



令和6年の出雲市の救急件数は前年に比べ**27件減少**しました。

1日あたりの救急出場件数は**約21件**です。救急車は、緊急時に要請する車ですので、**適正な利用**についてご理解とご協力をお願いします。

若手消防士の^{Voice!}声を聞いてみた!

今回は消防士になって1年が経った出雲消防署本署所属の**高橋 美帆消防士**と平田消防署所属の**伊藤 晃汰消防士**に、「1年経ったからわかったこと。」をテーマにインタビューしました。

インタビューー

伊藤さん、働く前の消防のイメージがあったかと思いますが、消防士になって実際とのギャップはありましたか?

伊藤さん

大きなギャップは感じていませんが、その年の警備隊のメンバーによってチームの色が変わるところなどは新鮮で面白いと感じています。



インタビューー

高橋さんは社会人経験を経て消防士になり、今、いかがですか?



高橋さん

一般的な企業と一番違うのは、丸一日同じメンバーで共同生活をして過ごすという点ですね。家族以上に昼夜を共に過ごすので、色々な話ができて仲良くなれるような気がします。この関わりが互いの信頼関係を深め、現場活動をし易くする要素の一つと感じています。

インタビューー

現場活動についてはどうですか?

伊藤さん

火災現場は想像していたよりも過酷に感じました。私が出動したときは、夏場の暑さで脱水症状のような状態になりました。自分の体調や体力を考え活動するのが重要だと感じました。



高橋さん

今は、経験を積みたいので現場に出て頑張るぞ!という気持ちでいます。現場に出て驚いたのは、火は本当に消えないということです。何時間かけても全然消えないこともあり、火災を起こさないことが大事だと身をもって理解しました。



インタビューー

次にプライベートの過ごし方についてはどうですか? 一般的な企業とは違い、24時間(※勤務8:30～翌日8:30まで)で勤務を交代し、朝勤務を明けたら非番日(休み)となりますが、プライベートの時間はどのよう過ごしていますか?



高橋さん

前職の勤務は月から金曜日に働き土日は休みでした。当時と比べると休みが決まっているわけではないですが、翌日には非番の日があり、週に1回公休が必ずあるので、正直休みは多く感じ、趣味等でリフレッシュでき充実しています。

伊藤さん

私の趣味はゴルフと釣りです。職場の方もゴルフや釣りをされる方が多いので、非番日は趣味に充てリフレッシュしています。
寝て終わることもありますけど(笑)



インタビューー

出雲市消防本部では、『職員がいきいきと働くことができる職場環境づくり』を進めております。若手職員が仕事と生活との両立に安心かつ積極的に取り組めるような様々な取り組みを行っています。今回インタビューしました高橋消防士、伊藤消防士と共に「神話の地～出雲の守り人～」として一緒に働いてみませんか?

Topics 1

飯塚市長が株式会社出雲村田製作所を訪問！

「社員の命は社員全員で助ける」

令和6年11月1日、『市長の訪問ミーティング』が行われ、長年、応急手当の普及啓発体制に力を注いでいる「株式会社出雲村田製作所」を飯塚市長が訪問され意見交換が行われました。

「社員の命は社員全員で助ける」を応急手当の普及啓発活動の目標に掲げ、活動の概要説明や社員の皆さんから応急手当普及啓発体制構築の際の裏話も伺えました。また、事業所内で発生した救急対応の際に具体的な手順や要点が記載された「アクションカード」や「AED」の設置・使用状況等を視察されました。

飯塚市長は「出雲の地にこのような取り組みが広がるように」との願いを込め、称賛の言葉を贈りミーティングは終了しました。



出雲市消防本部PR動画
(出雲村田製作所救急コラボ編)

Topics 2

高度救助隊訓練

高度救助隊 震災対応救助訓練を実施！

旧斐川行政センターを使用し震災対応救助訓練を実施しました。地震や水災害など近年多発している大規模災害発生に備え、救助方法や救助資機材の取り扱いを確認しました。

訓練は「地震により崩れてしまった建物の中に人が取り残されている」という想定で行い、安全・確実・迅速な手順を確認しつつ、隊員間のコミュニケーションを図り訓練を実施しました。

出雲市消防本部では今後も継続的に訓練を実施していきます。



Topics 3

情報指令課

通信指令体制の充実・強化！

多様化する災害対応のなか、119番対応をしている情報指令課では、人員を13名から18名に増強し通信指令業務の専従化を図り、119番受信業務のほか情報収集、災害広報及び統計業務を統括します。

これにより、今まで以上に社会的要請に的確に対応することが可能となりました。

出雲市消防本部PR動画
(情報指令課編)



おたすね

代表(電話 21-2119) (FAX 21-8241)

- | | | | |
|----------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|
| ● 消防総務課 (電話 21-6920) | ● 予防課 (電話 21-6921) | ● 警防課 (電話 21-6923) | ● 情報指令課 (電話 21-6924) |
| ● 出雲消防署 (電話 21-6926) | ● 佐田分署 (電話 84-0915) | ● 出雲西消防署 (電話 43-8119) | ● 多伎分署 (電話 86-2149) |
| ● 平田消防署 (電話 63-5519) | ● 大社消防署 (電話 53-2373) | ● 斐川消防署 (電話 72-0800) | |

災害案内(電話 23-0119) 出雲市消防本部ホームページ <https://www.izumo119.or.jp>



出雲市消防本部HP